

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公表番号】特表2005-501113(P2005-501113A)

【公表日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-002

【出願番号】特願2003-523165(P2003-523165)

【国際特許分類】

A 6 1 K	33/00	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 K	8/00	(2006.01)
A 6 1 Q	15/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 K	33/08	(2006.01)
A 6 1 K	33/22	(2006.01)
A 6 1 K	33/30	(2006.01)
A 6 1 K	33/42	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
C 0 3 C	3/076	(2006.01)
C 0 3 C	3/078	(2006.01)
C 0 3 C	3/083	(2006.01)
C 0 3 C	3/085	(2006.01)
C 0 3 C	3/087	(2006.01)
C 0 3 C	3/089	(2006.01)
C 0 3 C	3/091	(2006.01)
C 0 3 C	3/093	(2006.01)
C 0 9 D	5/14	(2006.01)
C 0 9 D	7/12	(2006.01)
C 0 9 D	201/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	33/00	
A 2 3 L	1/30	Z
A 6 1 K	7/00	B
A 6 1 K	7/32	
A 6 1 K	7/48	
A 6 1 K	7/50	
A 6 1 K	33/08	
A 6 1 K	33/22	
A 6 1 K	33/30	
A 6 1 K	33/42	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	

C 0 3 C 3/076
 C 0 3 C 3/078
 C 0 3 C 3/083
 C 0 3 C 3/085
 C 0 3 C 3/087
 C 0 3 C 3/089
 C 0 3 C 3/091
 C 0 3 C 3/093
 C 0 9 D 5/14
 C 0 9 D 7/12
 C 0 9 D 201/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

化粧品、デオドラント製品、医療製品若しくは薬品、プラスチック若しくはポリマー、衛生紙製品、食品、洗浄剤、発汗抑制製品、塗料及びラッカ、または、皮膚に対する刺激による反応、急性若しくは慢性の傷を処置するための製品に使用される、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末であって、

該ガラス粉末のガラスが酸化物ベースの重量%で以下の成分：

20～80重量% SiO₂
 0～40重量% Na₂O
 0～40重量% K₂O
 0～40重量% Li₂O
 0～40重量% CaO
 0～40重量% MgO
 0～40重量% Al₂O₃
 0重量% P₂O₅
 0～40重量% B₂O₃
 0～10重量% ZnO

を有し、このとき、Na₂O+K₂O+Li₂O+CaO+MgOの合計が15～80重量%の量とされ、該ガラス粉末のガラスにAgが含まれておらず、該ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で50μm未満とされている、ガラス粉末。

【請求項2】

前記ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で20μm未満である、請求項1に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項3】

Na₂O+K₂O+Li₂Oの合計が5～50重量%の量とされていることを特徴とする請求項1または2に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項4】

CaO+MgOの合計が5～50重量%の量とされていることを特徴とする請求項1または2に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項5】

化粧品、デオドラント製品、医療製品若しくは薬品、プラスチック若しくはポリマー、

衛生紙製品、食品、洗浄剤、発汗抑制製品、塗料及びラッカ、または、皮膚に対する刺激による反応、急性若しくは慢性の傷を処置するための製品に使用される、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末であって、

該ガラス粉末のガラスが酸化物ベースの重量 % で以下の成分：

68 ~ 75 重量 % SiO₂
 10 ~ 20 重量 % Na₂O
 5 ~ 15 重量 % CaO
 0 ~ 10 重量 % MgO
 0 ~ 3 重量 % Al₂O₃
 0 重量 % P₂O₅

を有し、該ガラス粉末のガラスにAgが含まれておらず、該ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で50 μm未満とされている、ガラス粉末。

【請求項 6】

前記ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で20 μm未満である、請求項5に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 7】

前記ガラス粉末のガラスは、XがLi, Na, K, Be, Mg, Caとなることができかつy = 1又はy = 2であるときに、0 ~ 30 重量 % のXFyをさらに有していることを特徴とする請求項1から請求項6のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 8】

前記ガラス粉末のガラスは、XがLi, Na, K, Be, Mg, Caとなることができかつy = 1又はy = 2であるときに、0 ~ 10 重量 % のXIyをさらに有していることを特徴とする請求項1から請求項7のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 9】

化粧品、デオドラント製品、医療製品若しくは薬品、プラスチック若しくはポリマー、衛生紙製品、食品、洗浄剤、発汗抑制製品、塗料及びラッカ、または、皮膚に対する刺激による反応、急性若しくは慢性の傷を処置するための製品に使用される、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末であって、

該ガラス粉末のガラスが酸化物ベースの重量 % で以下の成分：

20 ~ 80 重量 % SiO₂
 0 ~ 30 重量 % Na₂O
 0 ~ 30 重量 % K₂O
 0 ~ 30 重量 % CaO
 0 ~ 30 重量 % MgO
 0 ~ 30 重量 % Al₂O₃
 0 重量 % P₂O₅
 0 ~ 40 重量 % B₂O₃

を有し、該ガラス粉末のガラスにAgが含まれておらず、該ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で50 μm未満とされている、炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 10】

前記ガラス粉末のガラスの粒子の大きさが平均で20 μm未満である、請求項9に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 11】

前記ガラス粉末のガラスは、次の元素：Cu, Zn、のグループから選択された重金属イオンをさらに有していることを特徴とする請求項1から請求項10のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項 12】

前記ガラス粉末のガラスは、重金属を含まないことを特徴とする請求項1から請求項10のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項13】

前記ガラス粉末のガラスは、Cu, Znを含有していないことを特徴とする請求項12に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項14】

平均した前記ガラス粒子の大きさは10μm未満とされていることを特徴とする請求項1から請求項13のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項15】

平均した前記ガラス粒子の大きさは5μm未満とされていることを特徴とする請求項14に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項16】

平均した前記ガラス粒子の大きさは1μm未満とされていることを特徴とする請求項15に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末。

【請求項17】

原材料からガラスを溶融し、
溶融したガラスをリボンへと加工し、
前記リボンをガラス粉末に粉碎し、このとき、粒子の大きさを平均で50μm未満とする工程を有する請求項1から請求項16のいずれか1項に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末を製造する方法。

【請求項18】

前記リボンをガラス粉末に粉碎する工程は、粒子の大きさを平均で20μm未満とする工程を有する請求項17に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す効果のあるガラス粉末を製造する方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

本発明により、上記課題は、請求項1又は請求項5又は請求項9に記載の炎症を抑えかつ傷を癒す作用を持つガラス粉末により解決される。上記ガラス粉末のガラスは、20~80重量%のSiO₂, 0~40重量%のNa₂O, 0~40重量%のK₂O, 0~40重量%のLi₂O, 0~40重量%のCaO, 0~40重量%のMgO, 0~40重量%のAl₂O₃, 0~1重量%のP₂O₅, 0~40重量%のB₂O₃を含有できることが好ましい。上記ガラスは、0~30重量%のXFy, (ここで、XはLi, Na, K, Be, Mg, Caとできること)、および/または、0~10重量%のXIy (ここで、XはLi, Na, K, Be, Mg, Caとできること)、y=1又はy=2である)も含有することができる。Na₂O+K₂O+Li₂O+CaO+MgOの合計が15~80重量%となることが好ましい。とりわけNa₂O+K₂O+Li₂Oの合計が5~50重量%となることが好ましい。これとは異なり、CaO+MgOの合計が5~50重量%となるものでもよい。